～災害活動を支援～

待機支援車（たいきしえんしゃ）（９床式）

運転資格：中型自動車運転免許
設営人員：２人
設置時間：約１５分



■目的

・災害が発生したとき、現地での災害復旧活動を支援する車両です。

■特長

・通信機器を搭載しており、簡易な打合せにも利用できます。
・収納式ベットを９床搭載しており、休憩・仮眠に利用できます。






［ 車両内部 ］

■主な出動実績

平成28年台風10号





令和元年東日本台風







平成28年8月に発生した台風10号は、複雑な経路を経て、気象庁が1951年に統計を開始して以来初めて東北地方太平洋側に上陸し、東北地方に甚大な被害が発生しました。



令和元年10月に発生した台風19号の接近、通過に伴い、東北地方の広い範囲に観測史上1位の値を更新する大雨を降らせ、甚大な被害が発生しました。

国土交通省 東北地方整備局 東北技術事務所

■車両寸法：全長8.39m×全幅2.49m×全高3.45m　■車両総重量：7,980kg　■ベット：9床　■通信設備：衛星携帯電話等　■発動発電機：1台（6KVA）